



ご相談はお気軽に
TELとも FAX 3905-0970

さがらとしこ事務所

赤羽北3-23-17
(バス停「赤羽北3丁目」、メガシティ近く)

日本共産党議員団
区役所内 3908-7144
<http://www.kitanet.ne.jp/~kyoukita/>



◎次々と、さがら事務所に届けていた大判のザクロ。
少し時間をおいたら、
はじけて、赤い宝石のような
実が。甘ずっぱい…。

区立赤羽台西小学校創立50周年のお祝いの会

1962年

2012年

◎10月27日(土)
記念式典が開かれ、私も出席させていただきました。

全校児童に、「創立50周年の歌にどんな気持ちを込めたいですか」というアンケートをとり、その言葉をもとに「お祝いの歌」を作りました。

オープニングで

「お祝いの歌組曲」として、3つの曲が誕生しました。

◎作詞も作曲も、すべて西小の子どもたちが手がけたとのこと。感動ました。

1・2年生がつくった曲は、「みんなともだちたのしいな」 繩文の時代から

3・4年生がつくった曲は、「ぼくらの町」 人があつまっていた赤羽台

5・6年生がつくった曲は、「まだ見ぬ西の子へ」 ぼくたちが住むところ～

地域の方々に、ぜひ聞かせてほしい。
「ぼくらの町」より、取材もして歌をつくりあげています。



「政党助成金は返還せよ。」

公約投げ捨て、選挙目当ての離合集散のなか

自民 2363億円

民主 1380億円

公明 372億円

社民 323億円

その他 598億円

16年間で5千億円の
政党助成金を山分け
(1995-2010年)

日本共産党は受け取らず、廃止を主張

安心して選んでもらえる
政党らしい政党 日本共産党

●民・自・公は、国民に増税を押しつけながら、党の財政は企業献金や政党助成金頼み——「政党不信」は当然です。

●日本共産党は震災救援の募金やボランティアなど「住民の苦難軽減」の活動に全力。地方議員 2743人（8月27日現在）、2万をこえる支部、財政も自前でまかぬ党です。



東日本大震災ボランティアは
被災地にとどけました。
3万人。募金10億円を集めては

都知事選挙は
11月29日(木)告示
12月16日(日)投票

◎石原知事が突然辞職の記者会見(10/25)。10月31日に臨時都議会が開かれ、了承されました。

◎それにも、新銀行東京、築地の移転、オリンピック、尖閣問題などなど、多岐の税金投入での失敗もあるというの

に、その責任をとらないまま、知事の座を投げ出し、都政を足場にて国政の空をねらう石原氏。

◎「今の憲法はダメだ」「消費税も原発もたいした問題じゃない」「小県を捨て大道だ」と豪語されますが、その先には維新の会、たらあがれ日本、みんなの党との保守・大連立とは…。都民は国民、その行く末をしっかりと見定めていますよ。

◎憲法の否定ではなく、くらしのすみすみに、生きる政治を求めます。

都政を変えよう

私の思い

た。

国保も介護保険も、後期高齢者医療の保険料も値上げが続いているのに、東京都は負担軽減の財政支援を拒んできました。

東京都で13年半にわたり都民生活破壊の暴政を推し進めた石原慎太郎知事（80）が、任期半ばで辞職。行き詰まりと破たんの都政から「新しい都政への転換を」と訴える各界各分野の人たちに、今の思いを聞きました。

転換するチャンスです

東京社会保障
推進協議会 前沢淑子事務局長

私たちが取り組んだ国民健康保険の実態調査で、23区で7割の人が「国保料がこれ以上上がれば払えない」と訴えていることが分かりまし

ところが石原知事は「何が贅沢（ぜいたく）かといえばます福祉」と言つて、老人医療費助成や寝たきり手当を廃止し、暮らしを支える福祉施策を軒並み切り捨ててきました。盲導犬のえさ代補助まで切り捨ててい

あります。あるのに募集も抑え、応募倍率が100倍を超えることも珍しくなくなりました。

石原都知事は小泉「構造改革」を先取りした都政を進めて、貧困と格差を拡大させました。老人医療費助成や寝たきり高齢者の手当を廃止し、都営住宅に入りたくても入れない都民を放置する都政は、都民の命と暮らしを危機に陥れるものであります。



暮らしを守る知事を
東京都生活と健康を
守る会連合会 坂口忠男会長

合わせが連日寄せられ、「何回も申し込んでいるのに当たらない。生きている間に当選させて」と訴える人が相次いでいます。

都民の窮状に無関心な都政を切り替え、必死の思いで相談会に来る都民の声に耳を傾けて、暮らしを守る都知事を誕生させるため、多くの人たちと共同を広げたい。

私たちは都営住宅の募集時期ごとに各地で入居相談会に取り組んでいます。守る会には「次はいつ開くのか」という問い

石原都政は2000年以降、都営住宅を13年連續で新規建設をゼロにし、総戸数を抑制しています。都営住宅に空き室

一方で、2016年才リソニック招致に多額の税金を投じて失敗したのに、反省もなく20年五輪の招致を進めています。都民の命と暮らしを守る自治体本来の役割を放棄してきた石原知事の国政への進出は許せません。都知事選は、憲法9条と25条を守り、安心して住み続けられる都政に転換するチャンスです。

2012.10.31.付
「しふん赤旗」日刊より

都営桐ヶ丘団地の建替え問題 特養ホームなどの介護施設の充実・建設も…

都知事の姿勢と政策ちがいがはっきりとします。

区議 さがら としこ

すぐに原発ゼロへ
100万人の行動
11月11日(日)

▶1時～赤羽西口ひろば
<※イージカラーは黄色>
スピーチ・署名活動

▶2時～王子駅前の
三角公園でも

▶3時～霞ヶ関周辺から
首相官邸・国会前へ

(無理せず、ご自身の体力に
あわせて、ご参加下さい。)